

## 成果指標設定調書

## 【成果指標の設定】

成果指標設定年度 26 年度

市町村名	志木市			
提案事業名	市民がもっと健康づくり事業			
事業期間	26 年度	～	年度	
事業の必要性、目的	平成25年度にふるさと創造資金の補助を受けて整備した、志木市民体育館のエクササイズルームにおいて、ICTを活用した健康づくりプログラムを作成し活用することで市民の健康づくりや介護予防に対する意識を高めるとともに、志木市全体に健康施策を展開する。			
成果指標	(成果を検証する指標) 平成26年度健康運動教室参加者の体力年齢の若返り(平均5.0歳)			
	(成果検証の具体的な方法) 握力、上体起こしなど、6項目から構成される体力テストの合計得点により評価する。 (筑波大学の研究成果を基にした健康管理システム「e-wellnessシステム」の活用)			
	(上記の指標を設定した理由) 市民の体力年齢の向上は、健康長寿社会の実現に資するため。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (26年7月現在)	事業開始時に測定	目標値 (27年3月時点)	平均△5.0歳
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項				

## 【成果指標と構成事業の関連性】

平成26年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 市民体育館エクササイズルーム事業	ハードソフト間接補 市民体育館のエクササイズルームにて、ICTシステムを活用した個人の体力・身体活動量・体組成の状態に合わせた個別の健康づくり処方プログラムを科学的根拠に基づいて自動作成し、活用を図ることで、市民の健康づくりや介護予防に対する意識を高めるものである。	5,786
②	ハードソフト間接補	
③	ハードソフト間接補	
④	ハードソフト間接補	
⑤	ハードソフト間接補	
⑥	ハードソフト間接補	
合計		5,786

## 【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	紙広報紙、ホームページ等により健康運動教室の開催、エクササイズルームの利用について市民に周知する。また、健康運動教室については、参加者のライフスタイルを考慮したプログラムの設定と指導者の継続的な支援を行う。
成果指標の達成見込み	体力年齢の若返りについては、「e-wellnessシステム」を導入した複数の自治体の取組において効果が確認されており、本市においても成果指標の達成は可能と考える。 また、エクササイズルームの利用者数についても、上記の方策を実施することで、成果指標の達成は可能と考える。